



まつやま

市議会だより



編集・発行／松山市議会

ホームページアドレス <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shigikai>

松山市議会

検索

令和元年6月
第2回定例会令和元年度6月補正予算
10億6504万円を
原案可決

令和元年第2回定例会を、6月7日から21日間にわたり開催し、6月27日に閉会しました。

6月7日には、市長が予算案等の提案説明を行い、13・14・17・19日には20人の議員が一般質問を行い、提出された議案及び市政全般にわたり、活発な議論がなされました。

ついで、6月20・21・24日には6常任委員会を開催し、本会議で付託された議案や請願などについて、審査を行いました。

その結果、議案22件は、いずれも承認、原案可決あるいは同意の議決結果となりました。また、請願2件については、みなし採択、不採択の議決結果になりました。

なお、詳しい内容については「議案等議員別表決結果一覧表」(6・7面)に掲載しています。

副議長に大塚啓史議員が就任

6月27日に副議長選挙が行われ、選挙の結果、大塚啓史議員(公明党議員団)が就任しました。

副議長
就任に寄せて副議長
大塚 啓史

このたびは栄誉ある第103代松山市議会副議長に就任しました。

誠に身に余る光栄に存じますとともに、その重責を痛感し身の引き締まる思いであります。

今年、元号が平成から令和になり、新しい時代を迎えました。

この「令和」には、人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味が込められており、この時代を実現するためには、希望に満ちあふれた新しい時代を市民の皆様とともに切り開いていくことが必要と考えております。

このようなか、二元代表制の一翼を担う市議会では、地域の自立性や自主性を高めながら、時代に即した議会改革を推進し、市民の皆様身近で信頼される議会を目指し、鋭意取り組むとともに、市民全体を代表する機関として、市政運営への監視及び評価機能の役割を充分に果たし、市民生活や福祉の向上など、市政の発展に誠心誠意努めてまいります。

市民の皆様には、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



南高井町のテイレギ(松山市指定天然記念物)

可決された主な議案

予算

本会議の審議を経て原案可決された令和元年度6月補正予算の主な事業は次のとおりです。

子ども医療助成事業

少子化対策の一環として、子育て家庭の経済的負担の軽減を図るとともに、病気の早期発見や治療を支援するため、令和2年1月から、助成対象を中学3年生までの通院費に拡充する。

児童クラブ室施設整備事業

入会児童が増加している東雲児童クラブの環境を改善するため、東雲小学校と小中連携に取り組んでいる東中学校の施設を一部改修し、約30人分の受入れを確保する。

自主防災組織育成業務

自主防災組織連合会が実施する防災資機材や防災倉庫の整備に対し、一般財団法人自治総合センターの全額助成を活用し補助を行う。

女性消防吏員活躍推進事業

女性消防職員の活躍を推進するため、県内消防本部が連携し先進的な取り組みを行う企業の視察や女性活躍検討会を実施し、県消防長会に提言を行うとともに、女性消防職員採用に向けた合同説明会を実施する。

松山駅周辺整備事業

松山駅周辺土地地区画整理事業として、移転補償等を行う。

商店街等活性化事業

消費税率引上げに伴う国のキャッシュレス化推進の機会を活用し、商店等の業務の効率化を図るとともに、市民の買い物利便性向上による市内での経済循環を促進するため、商店街のキャッシュレス化を支援する。

スポーツインテグリティまつやま推進事業

(台湾マラソン選手団合宿受入事業)

平成31年2月8日に締結した台湾中華民国マラソン協会・愛媛陸上競技協会・松山市との協定書に基づき実施する2020年東京オリンピックに向けたマラソン競技の松山市合宿等、県とともに経費を負担する。

討論

議案第62号令和元年度松山市一般会計補正予算(第1号)に反対
田淵 紀子 議員(子ども未来)

議案第62号令和元年度松山市一般会計補正予算(第1号)に賛成
田淵 紀子 議員(子ども未来)

請願第8号辺野古新基地建設のための埋立てをめぐって、沖縄県と「対話」のテーブルに着くことを国に要請する意見書の提出を求める請願について賛成
梶原 時義 議員(ネットワーク市民の窓)

請願第8号辺野古新基地建設のための埋立てをめぐって、沖縄県と「対話」のテーブルに着くことを国に要請する意見書の提出を求める請願について賛成
田淵 紀子 議員(子ども未来)

一般質問

河本 英樹 議員
(みらい松山)本市独自の「ノーリフ
ティングケア」の推進は

問 福祉用具を活用することで介護職員が人を持ち上げ、支える、引っ張ることなどを行わない「ノーリフティングケア」の導入は、介護従事者の負担軽減や介護される側の安全、ひいては介護事故の防止に繋がると考える。愛媛県では今年度から「愛媛県ノーリフティングケア普及啓発モデル事業」を事業所でモデル事業として進めているが、本市では独自の事業としてノーリフティングケアの推進は考えていないのか。

雲峰 広行 議員
(公明党議員団)本市地域おこし協力
隊の活動への評価は

問 地域おこし協力隊制度は平成21年度に創設され、自治体に採用された隊員は、この10年で農林水産業の支援や特産品の開発・PR、地産地消活動などに取り組んできた。本市でも3年前から隊員が採用されているが、この3年間の活動、成果をどのように評価しているのか。

答 本市では平成28年8月の採用開始以降、5名の隊員が活動しており、地元の団体と連携したイベントや活動

答 本市でも、ノーリフティングケアは、利用者のけがや痛など二次障害の予防や介護者の身体的負担の軽減になり、双方にとって安全・安心な介護につながるものと認識しており、県モデル事業の検証結果や先進的な取組事例などを参考に、今後、研修会や事業者連絡会での事例紹介や市HPでの周知を行うとともに、ノーリフティングケアの推進について検討していきたい。

外国人住民と市民との
共生への考えは

問 国内で働く外国人労働者の人材確保が厳しくなっている一方、入管法の改正に伴い、外国人技能実習生等の外国人住民が大幅に増加する可能性が考えられるが、松山市民と外国人住民との共生の促進及び支援や対策について、どのように考えているのか。

またSNS等のコミュニケーションツールや都市部でのイベントなどで幅広く地域の魅力をPRし、認知度向上につなげている。また、柑橘のPRや販路拡大、人材活用組織の立ち上げ等にも新たに取り組み、地域の活性化に貢献していると考えている。

交差点付近の歩行者
の安全対策について

問 本年5月、軽自動車保育園児の列に突っ込んだ大津市での事故を教訓に、交差点の歩道部への車進入を防ぎ、進入速度をさらに和らげるための金属製のポール、いわゆる「ボラード」を事故多发交差点の歩道部に設置する自治体が増えている。松山市道のうち、例えば通学路に指定されている歩道のある2車線以上の幹線道路が交わる事故多发交差点に、ボラードを設置してはどうか。また、ドライバーへの安全運転

答 これまで、まつやま国際交流センターでのイベントや講座での交流等でも共生を図っており、今後は「愛媛県外国人材雇用・共生推進連絡協議会」での議論を踏まえ、深刻化する市内企業の人手不足への対応を進めるとともに、技能実習生などの外国人住民と互いに理解し、共生できるよう支援や対策を検討したいと考えている。



その他の質問事項
避難所の環境整備、保育サービス、子どもの発達障がい等の早期発見

に向けた意識啓発など、ソフト対策も重要だと思うが、所見を伺う。

答 今後、警察や各道路管理者などと連携し、交通事故が多発している交差点に、ボラードの設置などを検討していく。また、ソフト対策として、交通指導員や警察などと連携した街頭活動や地域での安全指導のほか、自動車の運転が体験できる交通安全教育車を活用し、安全運転の意識向上に取り組んでいる。今後、これらの対策を拡充し、ドライバーの意識向啓発に努めていきたい。

その他の質問事項
電力の地産地消、「スポゴム」の開発で環境美化意識の高揚を図ることについて、小学校の卒業式での袴着用、中島汽船の航路変更、本市のRPA（定型作業をロボットが自動化・効率化する技術）導入に向けた取り組み

向田 将央 議員
(自由民主党議員団)道後温泉本館及び檜の湯での
高齢者や障がい者への
入浴料金の助成制度について

問 本年10月から、道後温泉本館と檜の湯で、高齢の方や障がいのある方を対象にした入浴料金の助成制度が包括外部監査の指摘等を受けて変更になると聞け、監査でどのような指摘を受けたのか。また、10月からの新制度について、市民にどのように周知していくのか。

答 監査では、「現行の全額助成制度では、道後温泉と一般の公衆浴場の公平性に

池田 美恵 議員
(フロンティアまつやま)子どもの貧困対策への
新たな取り組みは

問 国の法改正により、子どもの貧困対策に関する計画策定の努力義務が市区町村に課せられるようになり、既に全国各地で自治体と民間が協力した支援活動が始まっている。今後民間と連携した支援の仕組みづくりを進めていくべきだと考えるが、本市の対策について、新たにどのような取り組みが必要だと考えているのか。

答 本市では、「松山子ども貧困対策部会」を設置し、関係各課

問題があり、道後から離れた地域の高齢者はほとんど恩恵を受けないことから、市内全ての入浴施設で同一の制度を適用し、高齢者半額入浴事業に一本化し、観光施設の意味合いが強い道後温泉本館は制度の除外を検討すべきだ」という指摘を受けた。また、本館の構造では重たの障がい者が利用しにくい現状があり、入浴料助成は見直す必要があるとの意見をいただき、制度を変更することとした。周知については、市HPや広報紙への掲載、道後温泉や一般公衆浴場、支所のポスターやチラシの掲示、案内を行っている。

選挙の若者投票率の向上
のための取り組みについて

問 親子で投票に行く取り組みについて、本市では「子どもと一緒に投票に行く」というキャンペーンを実施したが、私は、子ども視点に立った取り組みが必要だと考えている。

が連携を図りながら対策の推進に努めている。今後、見直しを検討されている国の「子供の貧困対策に関する大綱」や愛媛県実施の「子どもの生活実態調査」の結果を踏まえ、子どもの貧困対策関連事業について取り組みの評価・見直し等を行い、本市の実情に応じた、より実効性の高いものにしていきたい。

**防犯カメラの設置に
対する助成制度を**

問 昨今、防犯カメラの画像解析が犯罪の犯人検挙に多く役立つっており、先進的な都市では、防犯活動や子どもや若者の見守り活動を行っている町内会などの団体に、防犯カメラ



答 小・中学生の投票体験は、将来的な投票率の向上に繋がりが、一定の効果があるものと考えられるが、一方で子どもの投票場所を設けることは、記載台や投票箱の場所設定等、本来の投票事務の適正な執行を担保するために検討する課題が多数あるため、今後は先進的な取り組みを行っている他市の状況等について、調査研究していきたい。

ラ設置補助事業が実績を挙げつつある。本市でも、現存の防犯灯助成制度に加え、防犯カメラの設置に対する助成事業を始めよう。

答 本市独自の防犯カメラ設置助成については、財源の確保はもとより、防犯協会の制度とのすみ分けや、町内会など設置主体の管理責任の範囲など、さまざまな課題がある。また、設置済の団体からは電気代の維持費が負担であるとの声もあり、引き続き、他市の事例や状況等を調査し、制度のあり方について研究したい。

その他の質問事項
子ども医療費無料化、市政への若者の参画と子ども意見反映学校の安全対策、キャッシュレス対策、決算統計

猪野 由紀久 議員
(自民党松山創生会)

松山城の大型観光バス駐車場の整備を

問 令和元年5月の大型連休は多くの観光客に松山市を訪れていただいたが、今後も道後温泉の改修中は、特に松山城の観光地としての中心的存在となる予想される。松山城近隣の唯一の大型バス駐車場の整備を検討したい。



答 喜与町駐車場は、平成27年度に駐車スペースを拡張して、利用者のニーズに合わせた対応しており、現在、設備の老朽化により改修が必要で、地元関係者、旅行会社などから意見を伺っている。こうした意見なども参考に、トイレや休憩所の整備を検討したい。

小・中学生通院費助成について

問 県内では、小・中学生の通院費助成の実施は本市が最後ということだが、所得制限、自己負担、現物給付など、

県内の各自治体では、その制度の内容は異なっている。そこで、各自治体の対応状況を四国の県庁所在地の対応状況とあわせて伺う。

答 県内で所得制限を行っている市町はなく、鬼北町が高校卒業まで、その他は中学校卒業までを対象に現物給付で行っているが、宇和島市、八幡浜市、大洲市、西予市では、二万円から三万円の自己負担を設定した償還払いで行っている。今治市は歯科診療に限っているが、来月1月から全ての診療に拡充する。四国の県庁所在地で所得制限を行っている市はなく、高松市と高知市は、小学6年生までを対象に現物給付で、徳島市は中学3年生までを対象に、6000円の自己負担を設定した現物給付で行っている。

その他の質問事項

松本 博和 議員
(自由民主党議員団)

中島本島の投票所の統合について

問 さきの県議選では、従来の11カ所あった中島本島の投票所を、一気に1カ所とし、選挙当日に投票所まで臨時巡回バスを運行したが、利用者数と、当日投票した有権者に占める割合、周知方法をどうするか、前回、県議選と比べ、中島第一投票所の投票率の低下は市全体の約2倍だが、低下要因をどう分析し、県議選以降、島民の意見を直接聞く機会を設けたのか。さらに中島本島の投票所数を改めて見直す考えはないか。

答 バスの利用者は10名で、当日投票者の3・07%であり、中島本島全世帯にチラシを配布し、回覧文書でも周知を図った。投票率の低下は、さまざまな要因が考えられるが、投票所の統合も一定影響したのと考えられる。島民の皆さんの意見を聞く機会を設けておらず、今後の予定もないが、次回の参議院議員選挙では、投票区の見直しは行わないものの、既に実施している中島支所での期日前投票に加え、統合した地区のうち、小浜地区を除く9カ所に出張期日前投票所を開設する予定としている。

小・中学校におけるスクールサポートスタッフの配置状況は

問 教員の働き方改革の一環として、昨年度から学習フリースペースの印刷などの事務作業を教職員に代わって行うスクールサポートスタッフを市立小学校16校に対し8名配



答 今年度は全ての小学校53校に28名配置しており、中学校への配置はない。今後の方針として、現在の配置による効果等を十分に検証しながら、中学校への配置も含め、より教職員の負担軽減に繋がる方法を検討していく。

その他の質問事項

介護保険施設等に対する実地指導

山本 智紀 議員
(みらい松山)

出生届提出時の各申請書類の記入軽減を

問 先般、出生届を提出し、同時に赤ちゃんセット申請書や児童手当請求書など、合計6種類の書類に保護者名や子どもの氏名、住所、生年月日など、重複する情報を何度も記入し、連年の書類の情報記入作業を、例えば各チェック項目欄でまとめ、一元化させ



ることができれば、出産前後何かと忙しくなる市民の方々の幸せにつながるのではないかと考えるが、考えはどうか。

答 出生届に関連する申請書等は、市民課や支所などの職員で構成する「松山市ワンストップサービス連絡協議会」で関係各課と法令上の必要性や事務マニュアルの見直しなどを進めており、できるだけ早く記入の軽減化を開始したいと考えている。

トライアスロン中島大会における70歳以上の表彰新設と選手への安全対策について

問 大会も今年で34回目を迎えるが、年齢を重ねることに高齢者アスリートも増加傾向にある。今年より年代別表彰70歳以上の部門が新設されたこと聞か、新設に至った経緯及び選手の安全対策への取り組みに

答 部門新設については、実行委員会、選手からの意見や年齢別の申込み数、他の大会の状況も参考に検討し、今年大会から男性ランク別表彰に70歳以上の部門を新設し、幅広く表彰することとした。選手への安全対策は、救命ランナーの新たな配置やランニングコースを2往復にするなど、コース全体の安全性を高める。



その他の質問事項
麻疹(はしか)感染の増加、マイナンバーカードの交付、平成30年7月豪雨災害から1年たつにあたり農業復興について

山瀬 忠吉 議員
(公明党議員団)

シェアサイクル事業の概要は

問 自転車は、世界中の人々が日常的に利用し、我々の生活に最も身近なエコ製品であり、自転車を環境問題を考えるシンボルと位置付け、一層の利用促進を図ることは、極めて意義深いと考えられる。本市でも自転車利用に関する様々な取り組みがなされる中で、シェアサイクルを実施する



と伺っているが、事業の概要はどのようなものか。

答 事業の実施には、駅や観光施設などに設置するサイクルポートの効果的な配置や、無人での貸出や返却、料金の徴収などのシステムや運営が必要となるため、公募型プロポーザル方式で民間の運営事業者を選定した。事業者からは、主に中心市街地の約40カ所のサイクルポートで、2500台の自転車を導入し、また、クレジッ トカードや電子マネーで決済する提案がされ、今後、協定を締結後、運用を開始する予定である。

オリンピック出場候補者と子どもたちの交流の場を

問 東京オリンピックへの機運が高まる中、本市では、台湾のマラソン出場候補選手との合宿が実施される。オリンピックに向けて頑張っている

答 トップアスリートと直接触れ合うことは、競技力の向上はもちろん、子どもたちが将来の夢や大きな目標を持つきっかけになると考え、これまで、U・23チャイニーズ・タイペイ野球代表チームと市内小学校のバドミントン代表、マレーシアバドミントン代表による市内中学生へのバドミントン教室の開催を行ってきた。6月には、マレーシアバドミントンジュニア代表チームと、椿小学校の5年生との交流が予定されており、今後とも様々な協議の合宿を誘致し、子どもたちに夢を与えるような交流機会を提供できるように、取り組んでいく。

その他の質問事項
健康寿命の取り組み、働き方改

一般質問

矢野 尚良 議員
(フロンティアまつやま)大人の引きこもりに
ついての実態把握は

問 「8050問題」という言葉で表現されるように、80代の親が50代の引きこもりの子どもの生活を支える、大人の引きこもりが問題となっているが、こうした親子が社会的に孤立し、生活が立ちゆかなくなるケースが目立ち始めている。栄養失調や衰弱死など、痛ましいニュースも耳にするが、本市における大人の引きこもりについては、どの程度まで実態把握しているのか。また、調査しているのであればその方法、頻度及び調査結果について、伺う。

角田 敏郎 議員
(自由民主党議員団)障がい者福祉施設の
充実について

問 社会福祉施設の整備には、国及び地方公共団体の助成制度がある。増改築について過去5年の助成実績を見ると、社会福祉法人のみが補助を受けている。本市では、ショートステイの利便性等の向上や、重層的な障害児通所支援の体制整備などの多くの役割をNPO法人や民間事業者が担っている。本市の障がい者福祉を充実していくために、これらNPO法人や民間事業者などへの助成制度についての情報提供や増改築の補助を、今後どのように

答 これまでに実態調査を2回実施しており、平成28年度の民生・児童委員による市全体の概要調査では、引きこもりの方の人数は183人で、そのうち40歳以上が120人と、高齢化や長期化がうかがえた。平成30年度に地域包括支援センター利用の高齢者世帯のうち、引きこもりの方が同居している世帯を調査した結果、20人の引きこもりの方を把握し、うち40歳以上は14人であった。中には様々な事例や不安の声も聞かれ、支援の必要性を再認識した。

臨時財政対策債
に対する見解は

問 臨時財政対策債は、地方交付税の原資が不足した場合、自治体が特別に発行する地方債で、どれだけ増やしても国が措置をするために、地方財政に影響がないといわれているが、財政悪化を突き進む国が一

方的に財源措置を放棄したらどうするかを含め、本市の臨時財政対策債に対する見解を伺う。

答 国と地方との信頼関係のもと、一方的に変更することはない認識で、仮に臨時財政対策債を借入れなかった場合は、財源不足で、本来取り組むべき事業を行えず、市民サービスが低下するなど、円滑な財政運営が難しくなる懸念があるため、本市は、普通交付税の振替で臨時財政対策債が配分される制度の下では、必要な一般財源で活用せざるをえないと考えている。しかし、恒常的な地方交付税の財源不足は、臨時財政対策債の発行に頼らず、地方交付税の法定率を引き上げて対応するよう、全国市長会などを通じて今後も引き続き要望していく。

その他の質問事項
子どもへのキャリア教育及びマナー教育

本田 精志 議員
(自民党松山創生会)拡充する子ども
医療費助成の財源は

問 今回の子ども医療費助成の拡充に必要な経費は、年間約8億7000万円と聞かれています。愛媛県が県議会に提案している県費補助率8分の3が可決されれば、市では年間約7億6000万円の財源が毎年必要となるが、拡充する子ども医療費の財源の確保はどのようにして行っているのか。

答 現在、市では重要施策を推進するための行財政基盤の確立に向けたプロジェクトチームを立ち上げ、全庁を挙げ

て、限られた財源を有効かつ効率的に活用するため、事務事業や補助金の見直しを行うほか、債権管理の適正化を図るなど様々な分野について、計画的に鋭意作業を行っている。こうした取り組みを推進することで、抜本的な歳出削減と歳入確保につなげ、子ども医療助成の拡充に必要な財源を捻出したい。

子ども医療費はどのような
費用が無料となるのか

問 今回の拡充において、市民から「子ども医療費は全部無料となるのか」「医療費

のうち何が無料なのか」という質問をよくされ、市民が一番関心があるのが、「無料」だと感じている。今回拡充する子ども医療費は、どのような費用が無料となるのか。

答 今回の拡充では、通院費の対象者を中学3年生まで拡大するとともに、入院費も含め、全て現物給付とする。これにより、来年1月以降、乳幼児医療費助成と同様に、内科、小児科、眼科、耳鼻科、歯科、薬局など県内の医療機関を受診した際に、窓口での支払いが不要となる。ただし、保険適用外の予防接種、歯科検診、診断書量などは支払いが必要となる。

その他の質問事項
災害用資機材

行っていくのか。

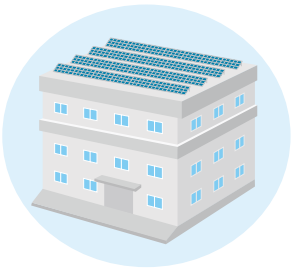
答 本市では、これまで社会福祉法人に補助の周知を行っていたが、NPOや株式会社等の営利法人の活用を進めていく必要があると認識している。今後は、社会福祉法人以外に補助を周知する際の課題となるNPOや営利法人が倒産や解散をした場合の財産の帰属先、運営主体となる法人の経営基盤や財政状況を把握・審査するための基準や仕組みづくりなどについて、他市の事例も参考に調査・研究していきたい。

公共施設での太陽光
発電の今後のあり方は

問 太陽光発電等の再生可能エネルギーで作った電力は、CO2削減など環境価値の高い電力である。近年、公共施設に設置された太陽光発電は、全量を売電して、電力と環境価値を一緒に買い取る固

定価格買取制度で全量を売電してしまつては、本市のCO2削減に寄与しない。また、公共施設の大部分は「貯める」ための蓄電池を設置していないため、災害時やブラックアウトの際に使えないものが多いが、公共施設で太陽光発電システムのあり方について、見解を伺う。

答 今後は、環境学習への活用や電力購入量の抑制、余剰電力の売電を引き続き行うとともに、災害時の自立電源としての活用を検討する。



洪水時の避難所について

太田 幸伸 議員
(公明党議員団)

問 地元之余土地区では、重信川や石手川に近いというところもあり、洪水時の避難の心配をされている方が多い。洪水ハザードマップでは、同川の氾濫時の浸水想定区域内に通常の避難所指定の学校や公民館がすべて洪水の避難所に指定されているわけではないことから、洪水時は遠方への避難となり、高齢者にとっては難しい状況である。洪水の避難所がない地域に対しては、既に他市が取り組んでいるようにビルやマンション、高架道路、学校の教室等を避難場所として指定してはどうか。

問 全国的に通学路の安全対策が課題となっている中、特に通学路の見守り活動は最も重要であると考え、見守りをする人が確保できない地域もあり、行政が主導して通学路の見守り体制の強化を図っていくべきだと考えるが、本市の見守り活動

通学路の安全対策と見守り
体制強化の取り組みは

答 重信川や石手川の浸水想定区域内にある学校や公民館などの指定避難所は、洪水のおそれがある場合、開設しないこととしていたが、昨年7月豪雨での避難状況を踏まえ、校舎上階に避難できるなど一定の条件を満たす施設は開設するよう見直したが、開設が限定される地域もあり、水害が差し迫った際、高さのある建物や道路などへの一時的避難が有効であると考えられる。今後、国の動向や他団体の取り組みも参考に調査・研究していく。

答 本市では、PTAや地域ボランティアを中心に見守り活動を実施し、また、学校、警察、保護者や青少年育成支援委員、防犯協会等の関係者で不審者情報等を共有しながら、地域でも工夫を凝らした活動をしている。各団体では、人員不足や高齢化などにより活動が困難な場合も見受けられるため、今後は各団体の自主的な取り組みに委ねるだけでなく、関係者の連絡協議会を通じて、見守り活動の協力を依頼するなど、体制強化の支援に努めていきたい。

その他の質問事項
ひきこもり支援、がん対策



白石 研策 議員
(自由民主党議員団)

**子ども医療費の助成を
中学3年生までの通院費に
拡充するよう工夫の考えは**

問 少子化対策の支援は様々な形で、子育て支援の主な市の施策として、公約である、子ども医療費の助成を中学3年生までの通院費に拡充することについて、市長の考えを伺う。

答 子育ての環境が整わない都市にこれからの発展はない、また、地域全体で子どもたちの未来を応援したいという思いから、「中学生までの医療費の無料化」を公約とした。

梶原 時義 議員
(ネットワーク市民の窓)

**事前の談合情報どおりで
落れた、コミセン運転業務
委託の入札はやり直すべきで**

問 2019年3月27日実施の「松山市総合コミュニティセンター電気・機械設備等保守安全管理及び運転業務委託」の指名8社による競争入札において、前日に「談合」の告発があり、告発どおりの落札結果となった。談合情報の信頼性を図る上で決定的な「落札金額と落札業者名」の正確な指摘は、告発者が実名か匿名にかかわらず、談合を疑うには十分な内容といわざるをえず、入札は無効としてやり直すべきだと

少子化対策の一環として、子育て家庭の経済的負担を軽減するとともに、子どもの病気の早期発見や治療を支援していきたい。

**本市のいじめの状況
及び独自の対策は**

問 子どもをめぐる問題は、いじめや不登校など多岐にわたり、未来を担う子どもを守り育てていくのは、我々大人全員の使命である。本市ではいじめの根絶に向けて様々な対策に取り組んでいるが、市独自の取り組みについて、いじめの状況と合わせて伺う。

答 平成30年度のいじめ認知件数は、小学校1050件、中学校434件、合計1484件であり、平成29年度と比べて、小学校は231件の減、中学校は14件の減、合計では217件の減であった。市独自の取り組みとして、小中学

考えるが、見解を問う。

答 指定管理者「公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団」の報告によると、談合を疑う匿名電話があったが、審議した結果、調査するに値しない情報と判断し、予定通り入札を行った。改札後、一部が事前情報と内容であったため、全指名業者への事情聴取の結果、談合は確認されず、全指名業者から誓約書の提出を受けた。また、一連の対応は適切なものであったと認識し、入札を無効にし、やり直す必要はないと考えている。

**改元を機に、本市の公文書と市民の
届出書類等、元号をやめて世界共通
で計算しやすい西暦に書き換えるべき**

問 本年4月、外務省は、外交交渉で西暦を使用する一方、省内の文書は西暦と和暦が混在し、読みかえが煩雑な

校82校を10ブロックに分けたブロック別研究、大学と連携した人間関係向上プログラムへの作成、いじめ0ミーティングの開催、毎月10日の「まつやま・いじめ0の日」の設定などがあ



上、間違つ恐れもあることから、「基本は西暦を使うように変更していく」と明言した。本市においても、読みかえが煩雑で計算ミスの恐れがある和暦をやめて原則、西暦使用に切りかえていくべきではないか。

答 昨年8月、政府は公文書への西暦表記を義務付けたい方針を固め、各自治体の個別の判断に委ねると報道された。また、本年4月には、「新元号への円滑な移行に向けた関係省庁連絡会議」で国の機関が改元日以降に作成する文書は「令和」を使い、会計年度は「令和元年度」とすると申し合わせた。こうした一連の動きを考慮し、本市では、従来から慣行してきた公文書の和暦表記を継続することとし、現時点での西暦表記への切りかえは考えていない。

その他の質問事項
本市の受動喫煙ゼロへの対策と本市職員勤務中禁煙の徹底

長野 昌子 議員
(公明党議員団)

**不育症に対する認識及び
助成制度の創設は**

問 妊娠はするものの、流産や死産を繰り返す不育症患者の方は、全国で約140万人にのぼり、毎年3万人の方が新たに発症しているが、検査や治療費の多くが保険適用されていない。不育症について、本市ではどのような認識を持ち、検査及び治療費の助成制度を創設する考えはないか、伺う。

答 不育症は、単一の病気ではなく、母体や胎児の様々な要因を含むもので、流産や

死産を経験することは、心と体の大きな負担になり、不育症で悩まれている方は少なくない。認識している。助成制度の創設については、不育症は、標準的な治療方法などが示されておらず、国の補助制度もないことから、今後の国の動向等を注視しながら、調査研究していきたい。



マイ・タイムラインについて

問 水害対策を時系列で整理した自分自身の行動計画「マイ・タイムライン」であるが、作成に手間がかかりすぎるなど、多くの人が敬遠する。誰でも簡単に記入できるフォーマットがあれば、より多くの人に作成していただけたと思うが、本市独自のフォーマットを作成してはどうか。また、防災士の数が日本一である本市の特

も解消の対象となるのか。また、解消した場合、保険料はどの程度上がるのか。

答 本市独自の保険料の上乗せの減算補填等目的の法定外繰入金のうち、「保険者の政策によるもの」に該当するため、その実施に要する一般会計繰入は解消の対象になると考えている。解消した場合の保険料は、世帯により異なるが、対象世帯の32%を占める65歳以上の単身世帯の例で年間6030円の増加となる。

**西条分水の議論と
海水淡水化について**

問 先日、県議会で知事は「水源問題に関する協議会」の廃止を発表し、西条分水について、実現の展望も見えない中、断念すべきだと考えている。現在までのような議論がなされているのか。また、長期的水需給

徴を生かし、防災士をマイ・タイムラインリーダーに養成してはどうか。

答 フォーマットは有効であると考え、国土交通省の様式や他団体の作成状況なども考慮しながら、フォーマットの作成を検討したい。リーダー養成には、専門的なアドバイザーが必要であり、本市の防災士などが地域でマイ・タイムラインの作成を指導できるよう、協力をいただいている愛媛大学防災情報研究センターに研修を受けることについて、引き続きお願いをしたいと考えている。こうしたリーダーを中心に、今後検討するフォーマットなども参考にしながら、マイ・タイムラインが作成できる環境づくりに努めたい。

その他の質問事項
高齢者を詐欺から守ること、インフラトリックリッジ里帰りプロジェクト

計画策定時に検討した、海水淡水化についての議論はなされているのか。

答 本市の水資源はダムと地下水2つのみしかなく、水源の多様性の観点からも新規水源が必要であり、平成17年以降、黒瀬ダムからの分水を最優先に取り組んできた。西条市が県や本市の提案に対し、「分水につながらない」と考えることから、応じることは困難」を回答したことで、これまで通り最優先で進めることは難しくなったが、西条市の地下水保全の取り組みが功を奏したときなど、将来的に情勢が変わる可能性もあることから、水源確保の1つであることに変わりはないと考えている。今後は、海水淡水化を含めた分水以外の水源確保策についても、技術面、費用面、実現性など様々な角度から検討していきたい。

その他の質問事項
幼児教育・保育の無償化

一般質問



小崎 愛子 議員
(日本共産党議員団)

ごみ出し困難者への支援を

問 高齢者など、ごみ集積所までごみを持っていくことが困難な人への対策が求められており、県内でも対象者の申請でごみを個別収集している自治体が見受けられる。本市でも、平成30年度の「笑顔のまつやまがまち工房」で、「介護保険施設に、新たなごみステーションを設置し、地域独居老人のヘルパーによるごみ出し支援を」と提言された。具現化し、ごみ出し困難者への支援が必要であると考えますが、どのように検討し、取り組んでいくのか。



岡田 教人 議員
(自由民主党松究会)

食物アレルギーがある児童への災害時の対応について

問 災害時に必要とされるアレルギー用食品について、日本小児アレルギー学会が発表した「大規模災害対策におけるアレルギー用食品の備蓄に関する提案」の割合を本市に当てはめると約3200人〜4400人分のアレルギー用食品が災害時に必要になると推測されるが、食物アレルギーがある児童への災害時の対応について、本市の認識を伺う。

答 本市では、避難者名簿を作成する際に、食物アレルギーなどの事項を事前に

答 昨年度のわがまち工房でご提言をいただいた一方、国では今後、高齢化社会に対応したごみ出し支援などについてガイドラインを作成することとしており、この動向を注視し、また、各地域で活動する社会福祉協議会やまちづくり協議会など、地域の力を生かした「共助」による効果的な支援方策について、関係各課と情報共有や連携を図りながら、研究していきたい。

無料低額診療事業における薬代を市負担で

問 無料低額診療事業とは、低所得者などに医療機関が診療を行う事業であるが、院外薬局での薬代はその対象にならず、院外薬局での薬代は対象にならず、薬代の支払いが困難で、低所得で薬代が生活を圧迫し、入院費の支払いができない事例などが起こっている。このよう

申し出ていただくようご案内しており、個人情報取り扱いに留意した上で、避難所担当職員や避難所を運営する地域の方々や情報を共有し、食物アレルギーがある児童が安心して食事ができるよう、対応したい。



児童クラブの課題の解決に向けて

問 国の基準では、児童クラブの児童一人あたりの面積基準は1・65㎡以上でなければならないが、地元伊台地区

な実態の中、薬代を負担する自治体もあり、本市として、薬代の負担を実施する考えがあるか、所見を伺う。

答 国が「医薬分業」を進めるは、院外薬局での処方費用が減免の対象外であるため、生計困難者が経済的な理由によって必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう支援する制度としていくことは重要と考えている。これまで、全国市長会等で、国に対して無料低額診療事業の見直しを要請しており、国でも、事業を行う医療機関における調剤の在り方について、引き続き検討していることから、市としては、今後も国の動向を注視していきたい。

その他の質問事項 訪問看護、訪問介護などの分野で問題になっている患者・利用者からのハラスメント、教育奨学金

の児童クラブは、児童の数が多すぎて、安心安全に児童を預かる環境ではない。5年前に建てられ、児童数の予測をもつて事態を回避できたのではないかと考えるが、このような施設における課題の解消をどのように図っていくのか。

答 市内には、伊台児童クラブのように、予想以上に子育て世帯が増加したことにより、手狭になっているクラブもある。これらのクラブでは、拡張する敷地や施設を確保することが難しいなどの課題があり、直ちに抜本的な改善を図ることは困難であるが、子どもたちのびのびと放課後を過ごすことができるよう、教育委員会や学校などと協議をすることにも、民間所有施設の活用など、引き続き、改善策を検討していきたい。

その他の質問事項 本市の財政運営

公明党議員団							自由民主党議員団							フロンティア まつやま				自民党 松山創生会			無党派								議決結果	議決日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
共産	民社	松研究会	ネット	歩	子	田淵 紀子	土井田 学	梶原 時義	岡 雄也	岡田 教人	武田 浩一	上杉 昌弘	杉村 千栄	小崎 愛子	白石 勇二	本田 精志	猪野由紀久	檜垣 良太	矢野 尚良	池田 美恵	渡部 昭	大亀 泰彦	松本久美子	大木健太郎	向田 将央	松本 博和	角田 敏郎	原 俊司			白石 研策	太田 幸伸	山瀬 忠吉	長野 昌子	清水 尚美	吉富 健一	大塚 啓史	雲峰 広行	丹生谷利和																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 議案第80号は、地方自治法第117条の規定により、池田美恵議員と清水尚美議員はそれぞれ除斥しています。 ※ 清水宣郎議員は、議長のため決決に加っていません。

一般質問

問 市内に最高津波水位3.9mよりも低い津波指定避難所は、何カ所あるのか。また、県作成の「愛媛県地震被害想定調査報告書」の津波水位想定外もあつたとする注意書きは認識しているか。なお、避難所の指定は必ず5m以上の高台にすべきと考えるが、所見を伺う。さらに、津波や高潮の災害対策に用いられる「海抜」という表現を使わず、山の高さをあらわす「標高」という表現を使うのか。



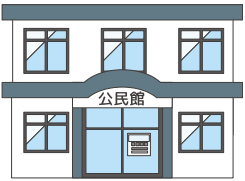
田淵 紀子 議員
(子ども未来)

最高津波水位に立地する津波指定避難所について

問 本市公民館は、政治活動で使用するのか。また、館長や主事研修時の、貸与に

公民館の政治的集会用について

答 最高津波水位より低い避難所は18カ所あり、県報告書に注意書きは認識している。津波時には、まず命を守る行動として高台へ避難することについては、誤解を招く表現については、わかりやすく周知する。県の想定報告書に示される区域外は津波の恐れはないとし、避難所を5m以上とすべきとは考えていない。「標高」表示は、まず、県が「標高」表示で水位を示していること、「海抜」は土地の高さを正確に示す用語としては正確な表現となる恐れがあること、また、本市の様々な地形特性から、内陸部の「標高」と沿岸部の「海抜」の混在は混乱を招くため、統一用語として「標高」が適当であると判断し、使用している。



〈議案等議員別表決結果一覧表〉
松山市議会 令和元年6月定例会
(○：賛成、×：反対、退：退席)

議案等		
承認 1	松山市市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例を定める専決処分の承認を求めることについて	
承認 2	松山市市税賦課徴収条例の一部を改正する条例を定める専決処分の承認を求めることについて	
承認 3	松山市介護保険条例の一部を改正する条例を定める専決処分の承認を求めることについて	
議案 62	令和元年度松山市一般会計補正予算(第1号)	
議案 63	松山市情報公開条例の一部改正について	
議案 64	松山市市税賦課徴収条例の一部改正について	
議案 65	松山市地域再生活に基づく認定事業者に対する固定資産税の課税免除又は不均一課税に関する条例の一部改正について	
議案 66	松山市離島振興法に基づく離島振興対策実施地域の固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	
議案 67	議会議員等報酬・期末手当及び費用弁償条例の一部改正について	
議案 68	松山市火災予防条例の一部改正について	
議案 69	松山市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について	
議案 70	松山市特定児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
議案 71	松山市保育所条例の一部改正について	
議案 72	松山市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
議案 73	松山市手数料条例の一部改正について	
議案 74	松山市下水道条例の一部改正について	
議案 75	松山市港湾施設使用条例の一部改正について	
議案 76	松山市海岸占用料等徴収条例の一部改正について	
議案 77	市有自動車による交通事故の損害賠償額を和解により定めることについて	
議案 78	市道路線の認定、廃止及び変更について	
議案 79	副市長の選任に関し同意を求めることについて	
議案 80	監査委員の選任に関し同意を求めることについて(池田 美恵議員)	
	監査委員の選任に関し同意を求めることについて(清水 尚美議員)	
請願 7	児童に対する医療費助成に関する請願について	
請願 8	辺野古新基地建設のための埋立てをめぐる、沖縄県と「対話」のテーブルに着くことを国に要請する意見書の提出を求める請願について	
-	所管事務等の調査について	

入湯税の今後の運用は



岡 雄也 議員
(自由民主党松国会)

問 道後温泉本館の保存修理工事に伴い入浴客数の減少が想定される中、入湯税の収入減も想定される。施設整備にかかる財源確保は重要であると考え、入湯税から基金に積み立てる検討も必要だと思いが、財源に限りがある中で、今後、入湯税をどう充当していくのか、運用について、伺う。

答 道後温泉地区で、市所有の源泉施設などは、浴場使用料などを財源に特別会計で維持管理等を行っており、本館保存修理工事を含めた施設整備

問 選挙の投票率向上への取り組みとしては、主権者教育をはじめこれまで市が進めてきた事業をベースに、投票機会を創出することが重要である。さきの県議選では児童館での啓発活動を行っていたが、

投票機会の創出に向けた今後の展開は

答 児童館に期日前投票所を設置した場合、児童館の利用者以外にも多くの選挙人の来場が予想され、二重投票防止のための専用回線が必要となることに加え、駐車場等で児童が巻き込まれる事故の危険性があることなどから、協議の経緯はあるが、開設を見送っている。自動車による移動期日前投票所については、人口規模が大きく、面積の広い本市の場合では、市内全域に公平・平等に開設することは困難であることなどから、現時点では考えていない。

その他の質問事項

議長	みらい松山										
清水 宣郎	田坂 信一	池本 俊英	寺井 克之	菅 泰晴	若江 進	渡部 克彦	上田 貞人	河本 英樹	松波 雄大	山本 智紀	
承認 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
承認 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
承認 3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 62	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 63	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 64	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 65	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 66	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 67	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 68	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 69	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 70	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 71	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 72	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 73	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 74	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 75	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 76	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 77	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 78	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 79	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 80	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願 7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願 8	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	
-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

委員会審査

6月定例会で委員会に付託された議案等について
審査を行いました。
主な質疑内容は以下のとおりです。

総務理財委員会

- 歳入
 - 市税全体及び個人市民税の今年度の収入見込み
 - 松山駅周辺整備事業にかかる国庫補助金の補助の内示率
- 常備消防費について
 - 自主防災組織の防災資機材整備に助成するコミュニティ助成事業の地区選定方法
 - コミュニティ助成事業を活用した防災資機材の整備状況

文教消防委員会

- 女性消防吏員活躍推進事業について
- 女性消防吏員が働きやすい環境整備
- ハラスメント防止対策などソフト面の対策
- 女性消防吏員の役割と必要性
- 埋蔵文化財センター管理・教育普及事業について
- 考古館の入館者数の推移
- 考古館の活性化を図るためのPR策
- 学校給食共同調理場給食業務委託について

市民福祉委員会

地域におけるまちづくり推進事業について

- 事業の経緯について
- 過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業の活用となった理由及び本市で事業活用可能な地域
- 今回実施の五明地区以外の地区での事業の活用について
- 総務省の交付金情報の把握について
- 子ども医療及び松山市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について
- 来年1月1日の年度途中から実施する理由、県の補助率、予算措置の状況
- 年間の予算額と市の負担増加について
- 児童健全育成費について
- 東雲児童クラブに関して、補正予算に至る経緯と施設の完成時期
- 民間の児童クラブの柔軟な活用と需要予測の変化について
- 児童クラブ支援員の確保、児童クラブの運営時間

環境下水委員会

- 松山市下水道条例の一部改正について
- 上野処理区とそれ以外の処理区の下水道料金の差額
- 料金改定についての市民への周知方法

- 新たに民間委託する湯山、日浦学校給食共同調理場の保護者説明会開催の有無及び意見内容
- 湯山、日浦学校給食共同調理場を民間委託した場合の経費節減額

都市企業委員会

景観形成推進事業について

- 平成19年に行われたワークショップの参加人数と今回の募集人数、募集方法
- 今回の募集人数、募集方法
- 少人数によるワークショップでの意見集約について

松山駅周辺整備事業について

- 増税の前後にまたがる月の料金の取り扱い
- 土地区画整理における移転補償の進捗状況と今後の見通し
- 2026年を目途としている、完成とはどのような状態なのか
- JRの鉄道線が分断されている5つの町は、土地区画整理完成後、ひとつの町になるのか

産業経済委員会

- 国際協力・国際理解推進事業について
- 自治体国際化協会の助成金を申請するに至った経緯
- 事業を題材にした教材・カリキュラムを市内小中学校で活用していくための計画について
- 作成した教材の授業での活用方法

商店街等活性化事業について

- 電子マネー普及拡大のため、新たに決済用端末の導入を予定している商店街及び導入目標
- 補助を行う端末の概要及び補助金の交付先
- キャッシュレス化を推進する本事業の趣旨について

松山市観光振興議員連盟

クルーズ客船の お見送りをしました



大型クルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス」が松山港に初寄港し、6月3日(月)の復路寄港時に、観光振興議員連盟の活動の一環として、出航を見送りました。船上甲板からは多くの乗客が手を振り、地上からは手作りの「See You Again!」の看板を掲げ、別れを惜しみました。



請願

6月定例会で審査された請願は次のとおりです。

- 第7号 児童に対する医療費助成に関する請願について(市民福祉委員会)
- 第8号 辺野古新基地建設のための埋立てをめぐる、沖縄県と「対話」のテーブルに着くことを国に要請する意見書の提出を求める請願について(市民福祉委員会)

陳情

6月定例会で受理された陳情は次のとおりです。

- 第7号 辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情について(市民福祉委員会)
- 第8号 辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情について(市民福祉委員会)
- 第9号 日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書について(市民福祉委員会)
- 第10号 米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情について(市民福祉委員会)

選任等をされた方々 《6月第2回定例会》



- ◆副市長
梅岡 伸一郎
- ◆監査委員
池田 美恵
- ◆愛媛県後期高齢者医療広域連合議員
清水 尚美
- ◆梅岡 伸一郎
- ◆大塚 啓史

お詫びと訂正

市議会だより325号(令和元年5月15日号)で田淵紀子議員(子ども未来)の一般質問(6面)の記事のうち、質問タイトルを「原発事故発生など有事の際のインバウンド想定は」と掲載しましたが、正しくは「学校給食の放射能測定について」です。お詫びして訂正します。



令和元年第3回(9月) 定例会の開催日程(予定)

第3回(9月)定例会は、9月5日(木)から9月30日(月)まで開催される予定です。

正式な日程は、8月29日(木)開催予定の議会運営委員会で決定します。
なお、9月19日(木)は休会日ですが、一般質問日となることもあります。

- 9月 5日(木) 本会議(開会、提案説明)
- 9月11日(水) 本会議(代表質問)
- 9月12日(木) 本会議(代表質問)
- 9月13日(金) 本会議(一般質問)
- 9月17日(火) 本会議(一般質問)
- 9月18日(水) 本会議(一般質問、委員会付託)
- 9月20日(金) 委員会(市民福祉・環境下水)
- 9月24日(火) 委員会(文教消防・産業経済)
- 9月25日(水) 委員会(都市企業・総務理財)
- 9月30日(月) 本会議(決表、閉会)

☆質問議員名は、議会ホームページ「令和元年9月定例会の日程」欄に掲載します。

松山の 地酒で 乾杯を

地酒による乾杯を推進し、松山の食を味わい普及することで、地域経済の発展を図るとともに、地酒や温暖な気候で育った豊かな山海の幸がふるさとの財産として誇りと愛着を持って次世代に受け継がれていくことを願い、平成29年に議員提案により「松山の地酒の普及並びに食文化の継承及び振興に関する条例」が制定されました。松山の地酒と食の普及を願い、松山の蔵元と地酒を紹介します。

栄光酒造株式会社

創業明治30年。以来、道後温泉で知られる愛媛県松山市にあって、水は高縄山系湧け淵の名水、米は山田錦に県産米の松山三井と、地域の風土にあった酒造りにこだわり続ける伝統の蔵元。「わが子を育てるがごとく醸すべし」という酒造りの精神は、杜氏蔵人に脈々と受け継がれ、時と手間を惜まずかけた醸技の結晶は、全国新酒鑑評会で最高位の金賞を平成元年受賞以来、幾度となくその栄誉に輝いています。今年(平成30年酒造年度)の全国新酒鑑評会におきましても金賞の栄誉に輝くことができ、昨年に引き続き連続の金賞受賞という栄誉に輝くことができました。

また最近では、「果実王国」の愛媛県産の果実をたっぷり使ったリキュール(ゆず・晩柑・キウイ・梅・みかん・ライムなど)にも力を入れ、杜氏が仕上げた洗練された味が人気を集めています。



創業明治30年(1897年)
松山市清辺町甲442
代表取締役 清水 弘朗

蔵元お勧めの地酒

- ① 夢月夜
- ② 松山三井
- ③ 特別大吟醸 栄光
- ④ 蔵元のゆず 500 ml
- ⑤ 蔵元の晩柑 500 ml
- ⑥ 蔵元の梅酒 500 ml